

[施策名 設計手法の見直し]

## 下水道施設における電気・機械設備の仕様の見直し

### ○施策の概要、進捗状況、継続性

下水道施設における電気・機械設備に使用される機器・材料等は、ほとんどの場合がオーダーメイドである。

このため、使用する場所に応じて仕様の見直しを行い、主機以外の機械設備および監視制御装置・受変電設備等において汎用製品等を使用することで、コスト縮減を図るものであり、施設の安全を確保できる範囲で汎用製品の使用を推進する。

### ○施策の効果

日本下水道事業団では、下水道施設の機械設備（主機以外）、電気設備（監視制御装置受変電設備）で汎用品の使用を検討し、新M型受変電設備やミニUPS等を採用することで、平成11年度に約11億円のコスト縮減効果があった。

### ○イメージ図

